

有珠山

1 概況（平成 15 年 3 月）

火山活動に変化はなく静穏に経過しました。

2 噴煙活動の状況

西山西麓（N）火口群のN-B火口の噴煙は、風が弱いなど気象の影響により時折高く観測されましたが、概ね火口上 100m以下で推移しました。山頂火口原、昭和新山でも特別な変化はありません。金比羅山（K）火口群の噴気は観測されませんでした。

3 地震活動の状況

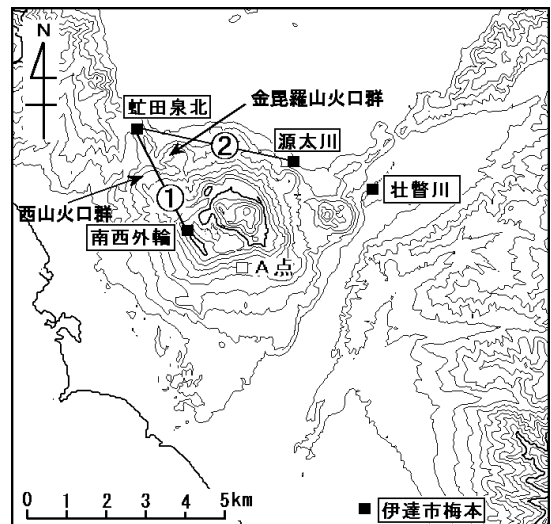
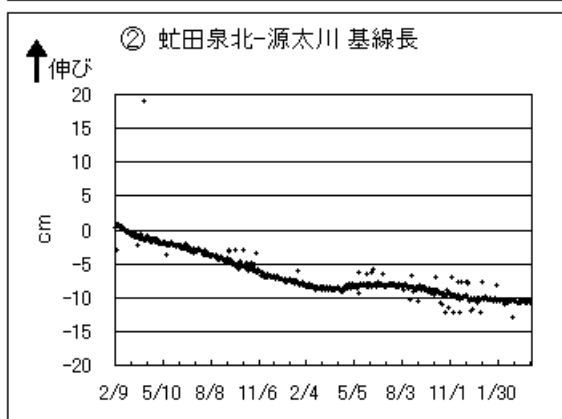
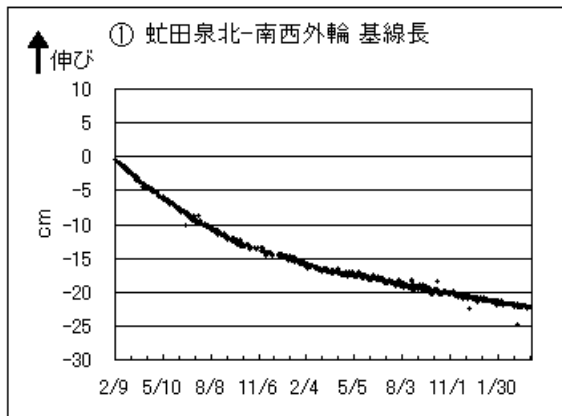
地震回数は 1 日あたり 0～4 回で推移しました。震源はほとんどが山頂火口原の浅いところ（深さ 1km 前後）と推定されます。火山性微動および空振は 2001 年 9 月以降観測されていません。

月別地震回数（A点）

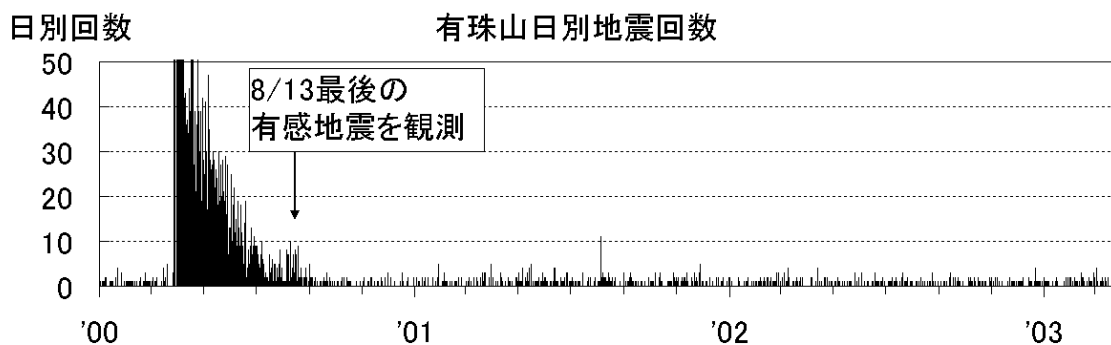
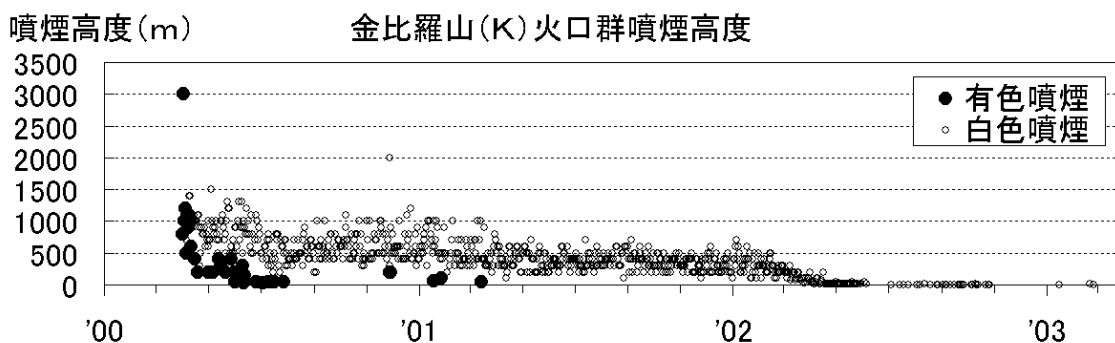
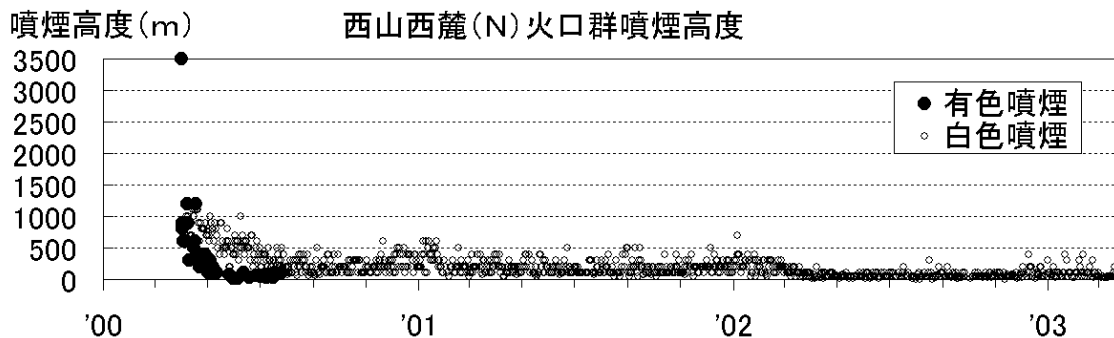
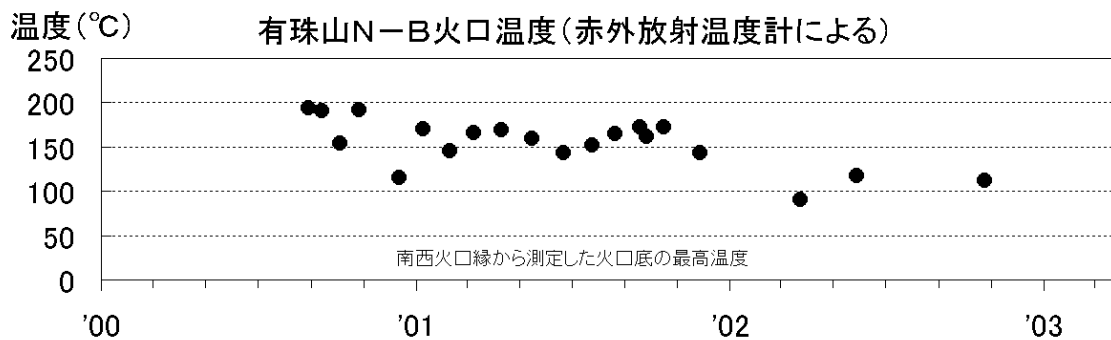
2002～2003年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
地震回数	23	18	23	26	17	19	21	18	24	22	29	21
微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

4 地殻変動の状況

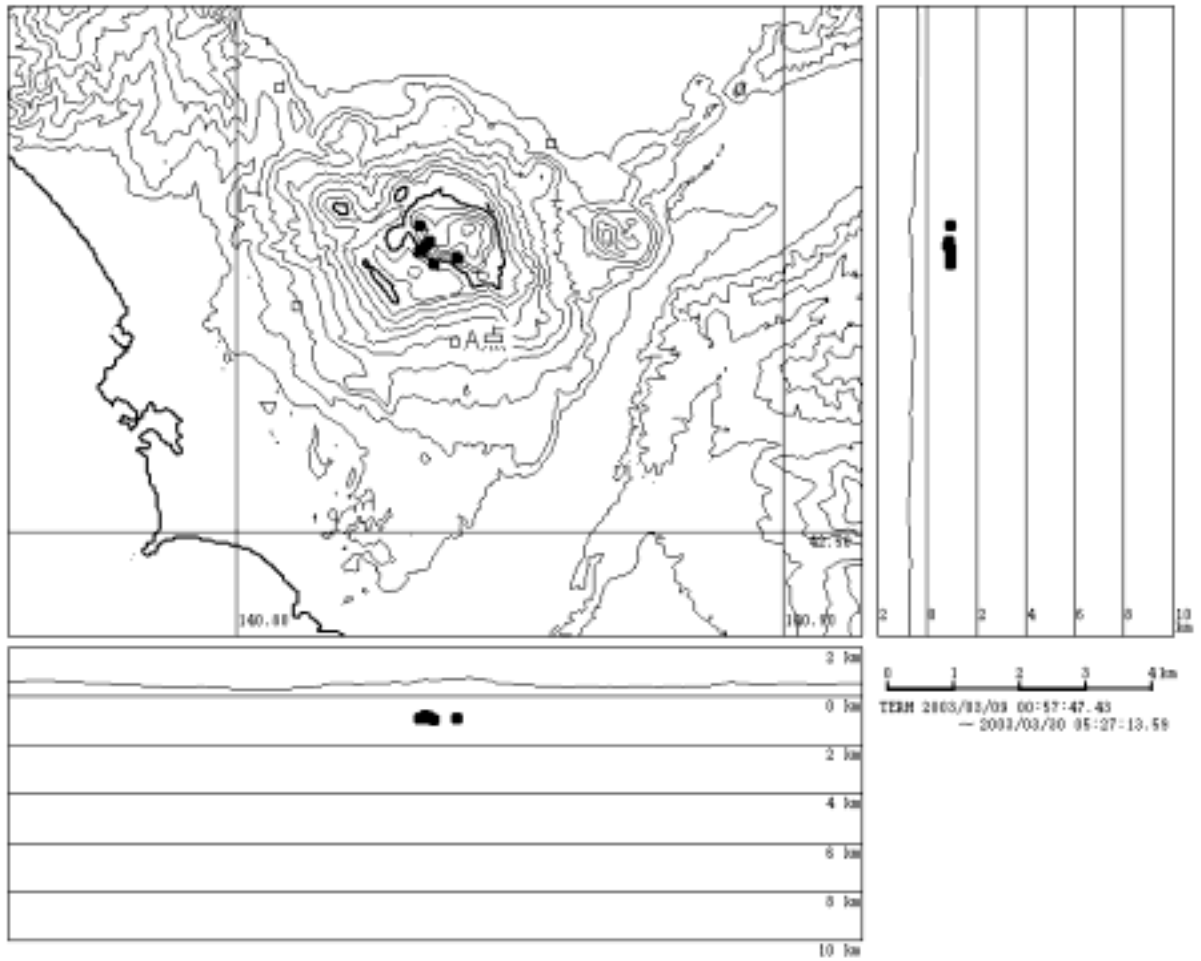
西山西麓を中心とする収縮傾向は 2002 年春頃まで鈍化しながら続いていましたが、その後の変化は山頂付近の変動（南西外輪の北方向への動き）を表していると考えられます。



有珠山基線長変化（2001 年 2 月 9 日～2003 年 3 月 31 日）



有珠山火山活動経過図(日別、2000年1月1日~2003年3月31日)



有珠山震源分布図(2003年3月1日~3月31日) 印は地震計